

社会的養護のノウハウを活かした親子サロン及び里親サロンの実施

☞**取り組み内容のポイント**☞ サロンに参加する母親にアンケートを取りながら、誰でも気軽に、楽しく過ごせるサロンを目指している。里親支援機関として、里親会相互の交流の場の提供、相談等の支援に取り組む。

神奈川県

社会福祉法人

中心会

〒250-0852 神奈川県相模原市中央区田名10125

TEL：042-764-7046 FAX：042-764-7048

●法人創立年

昭和 28 (1953) 年

●法人実施事業

①経営施設数合計：5施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

養護老人ホーム…1、特別養護老人ホーム…4、訪問介護…1、訪問入浴介護…1、通所介護…2、短期入所生活介護…3、居宅介護支援…2、地域包括支援センター…2、児童養護施設…1

●法人の理念・経営方針

私たちは、私たちが活動する地域社会において、自分や自分の大切な人が抱える心身の障害や生活環境上の問題によって、様々な「不自由」「生きにくさ」を現に経験し、また、経験するだろうリスクを有する人々に対して、適切な専門性を担保された養護、介護、及びこれに関連する諸サービスを提供することを通じて、誰もが自分の存在に誇りを持ち、生きる喜びを享受するとともに、自分や家族や隣人の存在を素直に喜びることができる社会づくりに貢献します。

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款への記載：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：中心子どもの家

【施設種別及び利用定員】：児童養護施設 定員 50名

●活動内容

◇活動開始年：平成 18 (2006) 年 1月

◇活動の対象者：地域住民、乳幼児、小学生他

◇活動の頻度・時間

サロンは毎月 2 回 10 時～14 時(昼食持参でサロン後もおしゃべりをしながら楽しく過ごしている)

施設は 365 日開放しており、事前に連絡いただければ自由に活動の場として提供している。

●活動実施の背景、実施にいたった理由

児童養護施設の入所児童の 7 割が保護者からの虐待を受けてきたという現状の中で、当施設が培ってきたノウハウが地域に還元できないかと考え、今までに子育て講座、育児相談、ショートステイ等の子育て支援を実施してきた。

「地域社会に根を張り、地域社会を育てるとともに、地域社会に支えられる」という法人の信念のもとつき、当施設が相模原市において、子育て中の親が何か困ったことがあったら、気軽に相談できるような存在でありたいと考えている。

●実施内容

親子サロン「おもちゃばこ」は、今年で 6 年目を迎えた。月に 2 回、地域の未就園児の親子を対象に、施設内のコミュニティホールで活動している。内容は、リズム遊び、人形劇、英語遊び、布おもちゃを使って遊ぶなど地域のボランティアの方々の協力の基成り立っている。今年度は、地域

の主任児童委員にも参加いただき、地域の親子のサポートをお願いしている。

また、赤ちゃん連れの母親も参加しやすいようにキッズコーナーの設置、授乳時に必要なパーテーションやおむつ交換台も設置し、赤ちゃんのいる母親も安心して参加できるように設備を整えた。それにともない、サロンのない日も会場を開放し、個人や母親グループが気軽に利用できるようにした。

里親サロン「あじさいカフェ」は、相模原市内の里親の憩いの場になれるよう昨年オープンした。内容は、年 5 回、ネックレスやクリスマスリースなどの季節にあった創作活動の他に里親同士の情報交換の場としても活用されている。今年の夏は、委託を受けていない里親を対象に、施設の児童との交流会を里親と一緒に企画し、体を動かすゲームなどをして施設の児童と一緒に楽しく過ごしていただいた。

◎活動効果 (利用者や職員、地域などの反応、影響)

親子サロンでは、イベント終了後も会場を開放している。お弁当を持参する親子が多く、一緒に昼食を食べながらゆっくり過ごしてもらっている。初めて参加した母親からは「久しぶりに、ゆっくり子どもを遊ばせることが出来ました。」などの声もいただいた。

また、施設入所児童も参加することもあり、地域の親子と交流する事で、施設の理解にも繋がっている。

里親サロンでは、全里親対象のもの、ベテラン里親が対象のもの、新しい里親が対象のもの、里親同士が遠慮なく話せる場を提供することで、顔を合わせたことのない里親同士が繋がるきっかけになっている。

◎今後の展開

昨年度末から、地域の保育園、民生委員、主任児童委員、家庭養育支援センター(中心子どもの家)で、子育て中の親子の支援のために何かできないか…と連絡会を立ち上げた。9月には、合同企画

を予定している。

コミュニティホールに児童図書を置き、サロンに参加する親子や里親に気軽に図書を利用してもらえるように図書コーナーを設置していく。

里親支援では、サロンなどで施設に足を運んで頂くだけではなく、里親が悩みを抱えて孤立しないよう、家庭訪問事業なども積極的に行っていきたい。

◎主な経費や財源及び人員等

		※年間あたり	
主な経費(支出)	経費概算額	主な財源(収入)	財源概算額
消耗品	3,000円	地域社協助成金	20,000円
印刷費	3,000円	法人負担金	5,000円
材料費	7,000円		円
ピアノ調律費	5,000円		円
お茶代	3,000円		円
保育図書費	4,000円		
<合計>	25,000円	<合計>	25,000円

- ・取り組みに係わった職員数〔3〕名
(職種等：保育士)
- ・取り組みを実施している施設の事業規模(平成23(2011)年度決算の事業活動収入)〔228,589〕千円
※法人全体の事業規模(同上)〔2,041,885〕千円



創作ケーキをつくりました!!



人形劇上映中



キッズコーナーを設置しました



布おもちゃ遊びは大好評!!